

概要

ファルクラム租税法研究会は、平成 22 年に酒井克彦教授(中央大学)が立ち上げた研究会であり、100 人以上の税理士や公認会計士、弁護士のほか、現役国税庁職員や保険会社等民間会社の社員等が加入している研究団体です。毎月の研究会におけるグループ討論のほか、会員による共同執筆書籍の刊行、専門雑誌での連載企画など、単発的な実務セミナーとは異なる継続的な活動を行っています。

プレップ・ファルクラム(プレファル)は、同研究会の基礎コースとしてスクール形式で租税法の基本である解釈論を学び、応用的な理解へとステップアップすることを目指します。2017 年に開講したプレファルは、多くの税理士や税理士事務所の職員の方などにご参加いただき、今回で第 3 期目となります。プレファルを通じて、実務と租税法をしっかりとリンクさせましょう！

オープンガイダンス(参加費無料)

日 時 平成 30 年 11 月 26 日(月) 19:00~20:45

場 所 ハロー会議室新宿曙橋

東京都新宿区片町 1-3-1 第 3 田中ビル

〔都営新宿線曙橋駅 A4 出口徒歩 3 分・JR 市ヶ谷駅徒歩 10 分〕

内 容 酒井克彦教授よりご挨拶とファルクラム概要のご説明

臼倉真純研究員より以下のシラバス等のご説明

講師・スケジュール予定等

講 師 臼倉真純 (社)ファルクラム上席主任研究員・(社)アコード租税総合研究所主任研究員

* テーマの内容等によって、酒井克彦教授が講師を行う回も予定しております。

日 時 原則として毎月 1~2 回、木曜日の 19 時から 2 時間弱 (8 月は非開催)

受講料 ① 1 回につき 6,000 円(税込・欠席の場合受講料は発生しません。)

② 全 11 回一括お申込みの場合には 60,000 円(税込・欠席の場合には無料音声フォロー有)

教科書 酒井克彦著『レクチャー租税法解釈入門』(弘文堂 2015)

* 割引価額 2,200 円でお買い求めいただけます。

その他 税理士等の資格の有無に関わらず、どなたでもご参加可能です(コース中途参加も可)。

出欠はファルクラム HP 上に申込フォームを設けます。 → <http://fulcrumtax.net/>

回	開催日程予定	概要
—	2018.11.26 (月)	オープンガイダンス
1	2018.12.6 (木)	租税法主義とその内容、租税法に厳格な解釈が求められる理由
2	2019.1.10(木)	文理解釈と目的論的解釈の概論、文理解釈の基礎(配偶者控除などを参考)
3	2019.1.24 (木)	文理解釈と立法趣旨の関係性(重加算税事例を参考)
4	2019.2.7(木)	目的論的解釈・趣旨解釈(逆ハーフタックスプラン事例等を参考)
5	2019.2.21(木)	縮小解釈(譲渡所得と損益通算・ゴルフ会員権の資産性等を参考)
6	2019.4.4(木)	限定解釈と租税法の濫用(外国税額控除・りそな銀行事件等を参考)
7	2019.4.25(木)	租税法における類推解釈(譲渡所得・サンヨウメリヤス事件等を参考)
8	2019.5.16(木)	借用概念論の基礎(相続税・武富士事件等を参考)
9	2019.6.6(木)	私法公法や会計学と借用概念(住宅ローン控除事例、オープンシャホールディング事件等を参考)
10	2019.6.20(木)	固有概念と一般概念の基礎(消費税法と所得税法における「事業」の意義の比較等)
11	2019.7.4(木)	総まとめ、補足等(最終日のみ月曜日を予定しております。)

* 進行状況等に応じて若干進行がずれる場合があります。その際は随時参加者の方へご連絡致します。